

2010 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属

社会学研究科

社会学専攻

担当科目

社会調査実習 1-5

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

仕事の内容は、主に3回生を対象として行った授業ですが、SPSSの使い方について教えてあげました。まずは授業中に先生が例をあげて、さまざまなSPSSの使い方について説明しますが、学生たちが自分で分析を行う際、どんな方法でどのように問題点に焦点を当ててやればいいのか分からないとき、詳しく説明したり、一緒に作業を行ったりしました。

「第2回 社会学部 卒業生アンケート」調査票に基づいて、1万字くらいの報告書を書くのが今学期の課題でした。報告書を書く前に、どのようなテーマで分析を行うつもりであるかについて、中間報告を行いました。私もみんなと一緒に、前に立って中間報告を発表させていただきました。それから、分析を行い、課題を提出しました。

気づいたこと：この授業は、主にSPSSの使い方について講義がおこなわれました。SPSSを使って、データを分析し、報告書を書くのは極めて大変な作業ですが、最後まで頑張るとその中からより多い知識が身につきます。しかし、統計学の基礎知識がない前提で、この授業を受けると追いつくのが難しいです。この授業を通して、SPSSの使い方をこなすと卒業論文を書く時、だいぶ助かると思います。量的分析を行って、はっきりしたデータで論文の中身を示すと、根拠があって説得力が強いと考えています。

感想：授業は一週間1コマでした。授業の内容は難しくてボリュームもあったということから、SPSSの使い方をしっかり覚えてから、分析を行い、報告書を書くことに至るまでは、忍耐力と粘り強さが要りましたが、学生みんなは最後まで頑張ってくれました。

チューターの業務を通して、小さいことでも周りの一人一人に対して気を配り、コミュニケーションを通すと、さらに親しくなることがしみじみ感じました。

<今後のチューターまたは先生への提案>

今後も続けてチューターをやりたいです。学生の立場と先生の立場の間のポジションに立って、周りを見回りながらうまくチューターをやっていきたいと思います。

先生にはもっと助かるように、学生たちにはもっと必要な存在になるようにがんばって行きたいと思います。

社会調査実習を通して、SPSSの使い方について、さらに詳しくなりました。また、今就職活動を行っている3回生たちの考え方についても触れるようになりました。中身が難しい授業であっただけに、そこから習ったこともいっぱいあります。